

文化庁同時提供
令和4年11月7日(月) 14時

令和4年11月7日	
資料提供	
担当課	那智の扇祭り保存会 関係 教育庁 生涯学習局 文化遺産課
担当者	藤森 073-488-6294
担当課	米山 龍介 関係 企画部 企画政策局 文化学術課
担当者	胡麻 (内) 2060

令和4年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の 被表彰者の決定について

令和4年度地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）の被表彰者が決定されましたので、お知らせします。

1 令和4年度本県被表彰者

氏名	住所	分野
那智の扇祭り保存会	那智勝浦町	民俗芸能の伝承
米山 龍介	岩出市	音楽家

※功績等詳細は別紙のとおりです。

2 表彰の趣旨

全国各地において、芸術文化の振興、文化財の保護に尽力する等地域文化の振興に功績のあった個人及び団体に対して、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰します。

3 表彰式

- (1) 日時 令和4年11月15日(火) 15時30分～16時50分
- (2) 場所 京都府立府民ホール（京都市上京区烏丸通一条下る龍前町590-1）

令和4年度 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰団体について

なちのおうぎまつりほぞんかい

氏名 那智の扇祭り保存会

住所 和歌山県那智勝浦町

那智の扇祭りは、毎年7月13日と14日に行われる熊野那智大社（和歌山県東牟婁郡那智勝浦町）の例大祭である。祭りでは、太陽をかたどったとも那智の滝を模したものともいわれる高さ6mほどの板状の扇神輿12基が、本殿前より那智の滝へと神幸し、本殿に還御する。飛瀧神社へ向かう参道では、12本の大松明が扇神輿を出迎える「御火行事」が行われる。このことから、「那智の火祭り」という呼称で広く知られてきた。那智の扇祭りは、昭和35年（1960）9月に、和歌山県指定無形民俗文化財となり、平成27年（2015）に国の重要無形民俗文化財に指定された。

保護団体である那智の扇祭り保存会は、熊野那智大社を中心として周辺地域の氏子や関係団体と協力して長年にわたり祭礼の執行及び運営を行い、伝統文化の継承と地域の活性化に努めている。那智の扇祭りは、保存会を中心に那智田楽保存会と神役を担う青年会にあたる那智山正義会、神輿を担ぐ役である扇指を出す市野々区、那智勝浦町内の諸団体、そして市野々小学校の小学生、行政や商工会に至るまで、さまざまな立場の者が現在の祭りを形作っており、関係団体の連絡調整はもとより奉仕者の人材確保や祭礼における舞の指導など極めて重要な役割を果たしているのが那智の扇祭り保存会である。

那智の扇祭り保存会は、祭礼の運営や継承・維持に尽力するとともに、熊野の世界遺産を活かした観光や魅力発信等、地域振興にも重要な役割も果たしており、本県の伝統文化の保護および文化振興に対する貢献は多大である。



那智の扇祭り 滝前の神事



那智の扇祭り 大松明

※ 下記アドレスにご連絡いただければ、写真データをメールで送信させていただきます。

担当 和歌山県教育庁 生涯学習局
文化遺産課 藤森

Email fujimori_h0002@pref.wakayama.lg.jp

令和4年度 地域文化功労者表彰（文部科学大臣表彰）被表彰者について

よねやま りゅうすけ

氏名 米山 龍介

生年 昭和28年

現住所 和歌山県岩出市

昭和28年に東京都で生まれた氏は、昭和51年東京芸術大学音楽学部器楽科を卒業後、昭和53年に同大学大学院音楽研究科修士課程（オーボエ専攻）を修了し、和歌山大学助手として本県に赴任する。

16歳からオーボエを始めた氏は、絶え間ない自己研鑽により、オーボエ奏者としてその実力を高く評価されるようになり、数多くの演奏会に出演する。

昭和54年には和歌山県新人演奏会選考委員に就任、平成7年から和歌山県立図書館きのくに志学館ミニコンサートをシリーズ実践するなど本県の音楽振興に多大な貢献がある。

平成元年よりフランス、スイス、アメリカで演奏活動を行い、国内では平成2年にブルガリア国立トルブルーヒン室内オーケストラ、平成6年にドイツザクソン弦楽四重奏団と共演するなど、その活動は、県内外はもとより国外にも及んでいる。

また一方では、岩出町（現：岩出市）の小学校、中学校の校歌を作曲し、根来の子守唄の編曲・CD監修、和歌山県警察本部の「青少年健全育成の歌」作曲、和歌山県の民話を題材にしたオペラ「鬼打ち猿丸」初演指揮など多岐にわたる活動を続け、文化施設や地方自治体との連携によるコンサートを開催するなど地域における芸術文化の普及に努めている。

氏は、平成9年に日本教育音楽協会和歌山支部長を、平成10年には和歌山県合唱連盟コンクール審査員を、平成18年から平成23年まで和歌山県文化表彰選考委員を、平成25年から現在に至るまで一般財団法人和歌山県文化振興財団評議員を務めるなど、後進の指導にも取り組む一方、文部科学省内地研究員として和歌山県立医科大学附属病院においてホスピタルコンサート《医療と音楽との融合》を実践するなど、その活動は多岐にわたり、本県の文化振興に対する功績は誠に多大である。



※下記アドレスに御連絡いただければ、写真データをメールで送信させていただきます。

担当 文化学術課 胡麻

Email goma_t0002@pref.wakayama.lg.jp